

南九州大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム モデルカリキュラム対応表

2025(令和7)年度以降

授業に含まれている内容・要素				環境園芸学部 環境園芸学科				人間発達学部 子ども教育学科				健康栄養学部 管理栄養学科				健康栄養学部 食品開発科学科					
				アカデミッ クスキル	統計学の 基礎	データサイ エンス入門	・コン ピュータ基 礎A	・コン ピュータ基 礎B	アカデミッ クスキル	統計学の 基礎	・コン ピュータ基 礎A	・コン ピュータ基 礎B	アカデミッ クスキル	統計学の 基礎	・コン ピュータ基 礎A	・コン ピュータ基 礎B	アカデミッ クスキル	統計学の 基礎	データサイ エンス入門	・コン ピュータ基 礎A	・コン ピュータ基 礎B
導入	1. 社会に おける データ・ AI利活 用	●現在進行中の社会変化 (第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に 深く寄与しているものであり、 それが自らの生活と密接に結 びついている	1-1 社会で起きている 変化	○		○	○	○	○			○		○	○	○		○	○	○	
			1-6 データ・AI利活用の 最新動向	○		○	○	○	○			○		○	○			○	○	○	
		●「社会で活用されている データ」や「データの活用 領域」は非常に広範囲であっ て、日常生活や社会の課題を 解決する有用なツールになり 得るもの	1-2 社会で活用されて いるデータ	○		○	○	○	○			○		○	○	○		○	○	○	
			1-3 データ・AIの活用領 域	○		○	○	○	○			○		○	○	○		○	○	○	
		●様々なデータ利活用の現場 におけるデータ利活用事例が 示され、様々な適用領域(流 通、製造、金融、サービス、イン フラ、公共、ヘルスケア等)の 知見と組み合わせることで価 値を創出するもの	1-4 データ・AI利活用の ための技術	○		○	○	○	○			○		○	○	○		○	○	○	
			1-5 データ・AI利活用の 現場	○		○	○	○	○			○		○	○			○	○	○	
基礎	2. データリ テラシー	●実データ・実課題(学術デー タ等を含む)を用いた演習な ど、社会での実例を題材とし て、「データを読む、説明する、 扱う」とい った数理・データサイエンス・AI の基本的な活用法に関するもの	2-1 データを読む		○				○				○				○				
			2-2 データを説明する		○					○				○				○		○	○
			2-3 データを扱う		○		○	○		○	○	○		○	○	○		○		○	○
心得	3. データ・ AI利活 用にお ける留 意事項	●活用に当たっての様々な留 意事項(ELSI、個人情報、 データ倫理、AI社会 原則等)を考慮し、情報セキュ リティや情報漏洩等、データを 守る上での留意事項への理解 をする	3-1 データ・AI利活用に おける留意事項	○			○	○	○			○		○	○			○	○		
			3-2 データを守る上での 留意事項	○			○	○	○			○		○	○				○	○	
選択	4. オプション		4-3 データ構造とプログ ラミング基礎				○	○					○	○	○		○		○	○	